

## 第8次経営計画の連結業績目標改定について

大栄環境グループは、経営ビジョンを『事業の永続性を高め、環境創造企業として進化する』とし、100年企業の基盤づくりを進めてきました。2019年度からスタートした第8次経営計画では、ESG要素を取り入れた施策に挑戦し、スタート期は過去最高益を上げることが出来ました。さらに、これまで以上に社会変化に対応した持続的成長を図るため、組織の改編を行いました。

具体的には、持株会社であった大栄環境ホールディングス株式会社がグループから外れ、大栄環境株式会社を親会社とする事業持株会社制へ変更しました。また、これまでの同一資本会社による単純合算から、経営権を持つ共同出資会社も組み入れた連結決算の売上高等へ計上方法が変更となりました。

このため、第8次経営計画で掲げた連結業績目標を改定いたします。最終年度となる2023年度の売上高は1,000億円から860億円に変更しているものの、利益計画に変更はありません。詳細は、以下の通りです。

なお、各施策については、これまで以上にESG施策を充実させ、資源循環に注力しつつ、社会的課題に一層取り組んでまいります。

## 【 連結業績目標 】

同一資本会社を単純合算した売上から経営権を持つ共同出資会社も組み入れた連結決算の売上高等に変更したことから、達成すべき連結業績目標を次の通り改定します。

2023 年度

売上高 **860** 億円 経常利益 **180** 億円 純利益 **121** 億円

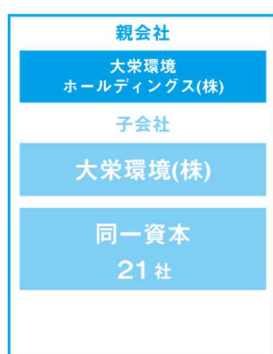
自己資本率 **48** %

年度別計画（2019～2023）計画 ※2019 年度は実績

（単位：億円）

年度	売上高	経常利益	純利益	総資産	純資産
2019	610	165	110	1,413	519
2020	669	152	102	1,540	591
2021	713	160	108	1,591	674
2022	770	170	114	1,683	761
2023	860	180	121	1,774	853

大栄環境  
ホールディングス(株)  
を親会社とする  
持株会社制  
単純合算



大栄環境(株)  
を親会社とする  
事業持株会社制  
連結決算

